

Press Release

2025 年 8 月 28 日

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

広報室

(Tel 0798-45-3533)

(E-mail kohos@mukogawa-u.ac.jp)

環境共生学部「プロジェクト棟」が誕生！兵庫県産木材を使用し、自然に配慮した学び舎を 9 月 8 日に報道関係者に公開します。

武庫川女子大学が 2025 年 4 月に開設した環境共生学部の新たな学び舎となる「プロジェクト棟」が完成しました。フィールドワークで得た問いを、グループワークで解決し、発信する環境共生学部の拠点となります。つきましては、9 月 8 日(月)に報道関係の皆さまにご覧いただく機会を設けましたので、ご案内いたします。

■ご案内

日時) 2025 年 9 月 8 日(月)14:00

場所) 武庫川女子大学浜甲子園キャンパス(西宮市甲子園九番町 11-68)

内容) 環境共生学部プロジェクト棟の披露

説明者) 青野光子・環境共生学部学部長、八幡充治・管財部長

■環境共生学部とプロジェクト棟について

「プロジェクト棟」は、浜甲子園キャンパス(西宮市甲子園九番町)にある環境共生学部の学びの拠点です。兵庫県産スギやヒノキを多く使用した木造 2 階建て。吹き抜けのあるラウンジが目を引き、南北に作ったプロジェクトルーム 4 室は、学びの用途に合わせた自由なレイアウトが可能です。部屋を方形にせず、外壁に凹凸を作ることで、屋外テラスとつながるミニスペースを設けています。

建築にあたっては、環境への配慮と学部名にちなみ、環境との共生を促す工夫を施しました。伝統的な建築資材である木を柱や梁、床に使うことでカーボンニュートラルに貢献。将来にわたり、

増減築が容易なフレームは、循環経済を体現しています。自然由来や再生可能な資材として、珪藻土系の左官壁や再生木デッキを使いました。主体的に行動しやすい仕掛けとして、風速計を設置し、風を可視化。風の通り道をつくるほか、建物周囲に巡らせた空堀に雨水を循環させ、雨水の利用状況もモニターで確認可能です。グループワークで学生が使うプロジェクトルームの室名札や各種サインは、甲子園浜で拾ったプラスチックゴミを再生させました。

環境共生学部は、バイオマスやゲノム、野生動物、気候変動、防災など多様な学びと、自由度の高いカリキュラムが特長。学外での「フィールドワーク」と、研究室での「ラボワーク」で視野を広げ、企業や自治体等と協力して課題解決を目指すプロジェクトに複数携わる中で、専門知識を身に付け、環境問題にアプローチする多様な力を育んでいきます。

■プロジェクト棟 概要

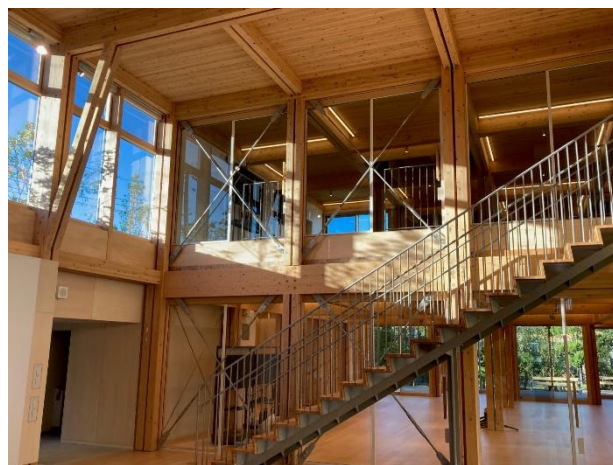
建築面積: 690.53 m²

延べ床面積: 988.26 m²

建物高さ: 7.63m

階数: 2 階

構造: 木造/その他建物





本件は、西宮市政記者クラブ、兵庫県教育記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブの各加盟社に送付しています。ご出席いただける社は、9月7日(日)までに▽会社名▽取材者名▽連絡先…を広報室までご連絡いただきますようお願いいたします。

■武庫川女子大学広報室

本件に関するお問い合わせ、取材のお申込みは下記までお願いいたします。

【電話】 0798-45-3533

【メール】kohos@mukogawa-u.ac.jp